

福井みな子の市政報告

芦屋市議会議員

福井みな子



平成24年度第3回定例会は、9月4日(火)から10月4日(木)まで開催され、市長提出議案14件、請願3件、議員提出議案1件の審査、及び平成23年度の決算審査が行われました。

決算特別委員会 ～昨年度の決算から今後の財政状況を考える～

9月議会では昨年度(平成23年度)の決算審査が行われ、私も副委員長として参加しました。委員会では「昨年度予算が適正に執行されてきたか? また十分な事業成果を生んでいるか?」を念頭に置き、3日間の審査の結果、適切な予算執行がされているとして、「認定」としました。

<平成23年度一般会計概要>

◇市税総額は、1億7,728万(0.8%)減の206億8,671万円

市税は、歳入全体の約半分を占めています。長引く景気低迷の影響により、3年連続の減少です。

◇市民一人当たりに使われるお金は、376,467円

昨年より減少しています。

◇民生費は、1億1,567万(1.1%)増の103億4,450万円

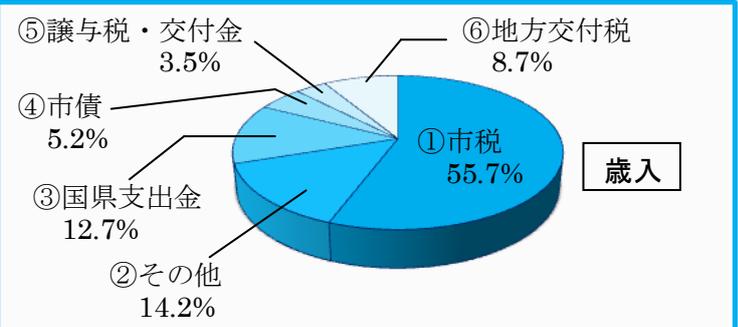
子ども手当や後期高齢者医療にかかる経費、生活保護費の増加等による結果です。



<歳入と歳出>

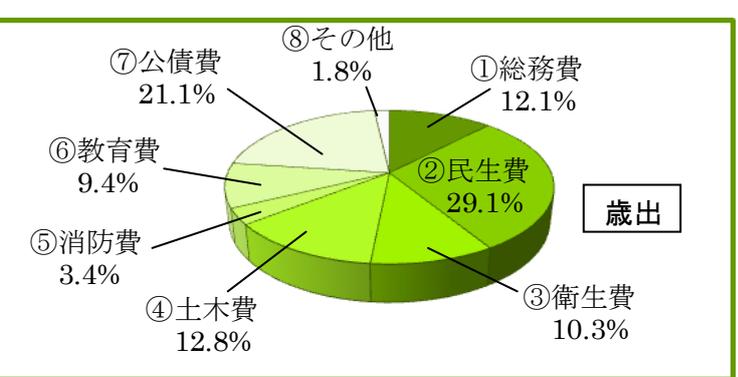
一般会計歳入決算額：371億2,538万円

①市税	55.7%	206億8,671万円
②その他	14.2%	52億5,192万円
③国県支出金	12.7%	47億1,707万円
④市債	5.2%	19億1,918万円
⑤譲与税・交付金	3.5%	13億3,414万円
⑥地方交付税	8.7%	32億1,633万円



一般会計歳出決算額：355億6,221万円

①総務費	12.1%	43億1,897万円
②民生費	29.1%	103億4,450万円
③衛生費	10.3%	36億6,436万円
④土木費	12.8%	45億7,090万円
⑤消防費	3.4%	11億9,301万円
⑥教育費	9.4%	33億3,298万円
⑦公債費	21.1%	75億1,163万円
⑧その他	1.8%	6億2,582万円



♡私の要望

- * **公共交通政策の確立** 現行の高齢者バス運賃助成制度は、バス路線のない地域に関しては、何のメリットもない不公平な事業である。
- * **高齢者の支援体制の強化** 高齢化が急速に進行する中、見守りや買い物支援を必要とする方々の把握を。
- * **メンター制度の導入** 庁内における人材育成やメンタルヘルスの観点から。
- * **松くい虫による被害木の伐採駆除補助金制のPR** その強化を要望。

9月定例会では、他にも芦屋市暴力団排除条例の制定についてや芦屋市営住宅の指定管理者の指定についての議案をはじめ、平成24年度芦屋市一般会計補正予算について審議し、すべての議案が可決されました。私は全ての議案に賛成しました。



本議会で行う一般質問とは、各議員が市民要望を交えながら、40分の質問時間の中で市役所側に質問や政策提言を行う事です。質問形式は従来からの「一括方式」に加えて、今年の6月議会より「一問一答」方式が導入されましたが、今回一般質問を行った18名の議員は、全員が一問一答方式を選択しました。この方式の導入により、議会での議論の活性化が図られ、わかりやすい議会運営の第一歩となりました。

一般質問の内容(抜粋)

一般質問の詳細については、市のホームページをご覧ください。

高齢者の見守りについて	病児・病後児保育について
<p>Q 総人口に対する65歳以上の高齢者人口が23%を超える芦屋市では、高齢者の見守り体制を一層強化する事が急務である。</p> <p>私は、昨年的一般質問の場でも孤独死について取り上げたが、今後、ひとり暮らしの大幅な増加に伴い、孤独死が大きな社会問題になることを懸念している。</p> <p>現在、多くの自治体において、地域で見守りあう新たなネットワーク体制として、民間事業者との協定締結による取り組みが始まっている。例えば、民間事業者の通常業務において、配達先で気になる高齢者を見かけたら地域包括支援センターに報告するなどの取り組みである。</p> <p>高齢者を地域で見守り合うセーフティネットワークの一つとして、民間事業所にも加わってもらう高齢者見守り事業について、芦屋市としての今後の展開について問う。</p>	<p>Q 市立芦屋病院における病児保育実施計画の推進については、6月議会でも取り上げており、今後も協議を進めさせていただくとの答弁を頂いた。</p> <p>私は、この件に大きな関心を持ち、この夏、独自に神戸市の東灘区、灘区、中央区にある4つの病児保育施設を調査したところ、4施設あわせた芦屋市在住者の登録者数合計は、23年度現在約80名であった。</p> <p>市長は常々、子どもファーストと言うが、芦屋の未来を背負っていく子どもたちを他市の事業で実施している病児保育にまかせて、何をもって子どもファーストなのか疑問に思うところである。</p> <p>芦屋市では病後児保育をスタートしてまだ2年目でありその定着を図る事が先決であると考えているが、市立芦屋病院の小児科医師も増員されている今、病児保育の実現の可能性について改めて問う。</p>
<p>A 平成24年10月1日に芦屋市と生活協同組合コープこうべ及び芦屋市社会福祉協議会の間で見守りに関する協定を締結する予定である。</p>	<p>A 病後児保育とともに本市においても今後取り組むべき課題であると考えている。 (前回と同じ回答)</p>

♡私の考え

<高齢者の見守りについて>

高齢化が進む中、民間の力を借りて見守り体制を強化し、市民生活の安心感を高めること、そしてよりきめの細かい重層的な見守り体制を構築する事が重要です。民間事業所との提携も一社のみでなく、新聞店、乳酸飲料販売店や郵便局など他にも積極的に働きかけをしてほしいと強く要望します。



♡私の考え

<病児・病後児保育について>

子育て女性(20~49歳)対象の政府の調査結果によると、近年長引く景気低迷の中、就労希望は86%となり、共働きの志向が顕著になりました。また、少子化対策に関する意識調査によると、望ましい保育サービスの拡充として「待機児童の解消」64.9%に次いで「病児、病後児保育の充実」が54.7%と、そのニーズの高さが伺えます。

子どもたちを社会体制の不備による犠牲者にしないためにも、また「孤独な子育てをさせない」ためにも、病児・病後児保育は、行政が力を入れなければならない事業であると私は考えます。病児保育実施計画の推進にあたっては、このような事実を踏まえて、一日も早く実現に向けて進めてほしいと強く要望します。

12月の議会予定

- 11月30日(金) 議会運営委員会
- 12月 3日(月) 本会議開会
- 4日(火) 都市環境常任委員会
- 5日(水) 民生文教常任委員会
- 6日(木) 総務常任委員会
- 10日(月) 議会運営委員会
- 11日(火) 本会議(一般質問)
- 12日(水) 本会議(一般質問)
- 13日(木) 本会議(予備日)
- 14日(金) 委員会(予備日)
- 20日(月) 議会運営委員会
- 21日(火) 本会議閉会

福井美奈子質問予定

傍聴にいらっしやいませんか? 本会議と委員会はどこでも傍聴できます。詳しくは議会事務局まで

TEL: 38-2001

編集後記

秋の気配がいよいよ濃くなってまいりました。この時期はあしや秋まつりをはじめ運動会や様々な行事が開催されて楽しみな季節です。

さて、9月定例議会は議案審査と平成23年度の決算審査があり、長期間にわたる議会となりました。

決算特別委員会審議の結果、「認定」となりましたが、「この税金の使い方は妥当であるのか?」と思う事もありました。そうしたあらたな課題は、今後の議会や一般質問でも取り上げていきたいと思えます。

福井



芦屋市議会議員(イーブンあしや)

福井みな子 市政報告 No. 6 平成24年10月発行

〈芦屋市議会〉芦屋市精道町7-6 TEL: (0797) 38-2001

〈事務所〉TEL&FAX 34-0240 http://www.fukui-minako.com

E-MAIL: ashiya-shigi@fukui-minako.com

市政に関する皆様のご意見をお寄せ下さい。